

しゅん か しゅうとう

春夏秋冬

《岁时》雨水和启蛰

“雨水”为二十四节气之一，它的意思是太阳黄经到达了330度，从天空下落的雪变成了雨；冰雪也开始融化，坚冰成为柔水。它同时也指草木渐渐萌芽，人们准备农耕并为了迎接3月3日女儿节这一天，而开始装饰偶人的这一时节。

另外，“启蛰”也为二十四节气之一，它是指太阳黄经到达345度时，躲在地下过冬的虫子们从壳穴中爬出地面的那一段时节。

2004年的“雨水”为2月19日；“启蛰”为3月5日。



“启蛰”与“惊蛰”

二十四节气的名称，即使在日本，使用的几乎和中国相同的汉字，但，唯一的例外，就是“启蛰”。“启蛰”在中国写成“惊蛰”。这是因为中国汉代的第六代皇帝·景帝的谥号是“启”，使用同样的汉字为不敬，于是起用了另一个同音字“惊”。“惊蛰”曾在唐代被改回来，写成原来的“启蛰”（二十四节气正好在这个时候传到了日本），其后在中国，“启蛰”再一次被写成了“惊蛰”，并一直延用到今天。

《岁时》雨水と啓蛰

「雨水」とは二十四節気の一つで、太陽の黄経が330度に達した時で、雪が雨に変わり、氷が解けて水になるという意味です。草木の芽が出始める頃で、農耕の準備を始め、雛人形を飾り始めるのもこの頃です。

また、「啓蛰」も二十四節気の一つで、太陽の黄経が345度に達した時で、地中で冬ごもりをしていた虫が穴からはい出してくる頃をいいます。2004年の「雨水」は2月19日、「啓蛰」は3月5日となります。

啓蛰と驚蛰

二十四節気の名前は日本でも中国とすべて同じ漢字を用いていますが、唯一の例外が「啓蛰」です。中国では、これを「驚蛰」と書きます。これは、中国の漢王朝6代皇帝・景帝の諱が「啓」であり、同じ字を使うのは畏れ多いとして、音が似ている「驚」の字に改められたことによります。唐代にはいったん「啓蛰」に戻されました（日本に二十四節気が伝わったのは、この時期）が、その後、再び「驚蛰」とされて現在に至っています。